

「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」募集

食品の安全、食品衛生、食品の機能、食品媒介の感染症・疾患、生活環境衛生
に関する研究論文を公募

副賞賞金 100 万円を贈呈 平成 28 年 6 月末日締切

「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」募集について：

今年度の重点課題は、「食品の安全」「食品衛生」「食品の機能」「食品媒介の感染症・疾患」「生活環境衛生」に関わる研究です。

食品の安全 たとえば、食品媒介微生物、残留化学物質、天然有毒・有害物質、食品添加物、食物アレルギー、器具・容器包装などに関する調査研究やこれらの分析法の開発、食品中の放射能汚染など、食品の安全に関わるもの など。

食品の機能 たとえば、食品の機能性成分に関する研究や、これらの分析方法の開発 など。

生活環境衛生 たとえば、シックハウス、アスベストやダニ、カビなど室内環境、大気汚染、ビル衛生、飲料水の安全性、水と感染症の問題 など。

* 対 象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ

* 応募書類：所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文

* 応募期間：平成 28 年 4 月 1 日より 6 月 30 日（消印有効）

* 副 賞：賞金 100 万円

※ 原則として最近の業績を評価対象とします。業績とは、この 5 年間に関連学会で発表された原著論文とします。

※ 遠山椿吉賞選考委員会において論文を選考の上、1 件を採択し、10 月に発表します。

授賞式および記念講演、レセプションは、平成 29 年 2 月 7 日(火)に開催の予定。

※ 優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる 50 歳未満の応募者（年齢は応募時点）に対し、研究の更なる発展を奨励することを目的として、山田和江賞を設け、顕彰します。副賞：賞金 50 万円。
山田和江賞の受賞は将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではありません。

詳しくは、一般財団法人東京顕微鏡院ホームページ <http://www.kenko-kenbi.or.jp/> をご覧ください。

貴学会の学会誌・会報・ホームページ等にて、会員の皆さまに告知いただければ幸いです。

本賞の趣旨：

日本の公衆衛生において、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点で、地道に社会への貢献を追求する研究者（個人および研究グループ）を顕彰する賞と位置づけています。創業者生誕 150 年を記念し、平成 20 年に創設。

遠山椿吉とは：

遠山椿吉は、明治時代に、日本で初めて臨床検査の民間専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、人々のいのちを守るため公衆衛生に力を尽くした細菌学者・医学博士。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、東京に安全な水道水の供給を実現して伝染病予防に努め、予防医療を提唱し健康診査や衛生指導を実施しました。

臨床検査、飲料水等の検査、顕微鏡技術者養成、顕微鏡検定、学会誌発行などを展開するとともに、市民に対する啓発活動に努めました。

明治 41 年ロベルト・コッホ博士来日の折は、コッホ博士、北里柴三郎博士を招いて「生花の会」を催し、共にひと時を過ごしています。

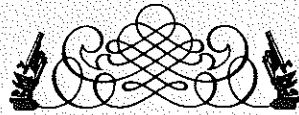
添付：第 5 回 食と環境の科学賞ご案内、公益事業レポート 2014 (P5～7：第 4 回 食と環境の科学賞)

報道機関からのお問い合わせ先：

一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室 担当 水戸、三橋（みつはし）

TEL:03-5210-6651 メール: mito@kenko-kenbi.or.jp

ホームページ：<http://www.kenko-kenbi.or.jp/> <http://www.genkiplaza.or.jp/>



Tinkiti Toyama Memorial Award
for Food and Environmental Sciences

「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」 募集

- ◇ 対象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ
- ◇ 応募書類：所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文
*原則として最近の業績(調査、研究、技術の開発など)を評価対象とします。業績とは、この5年間に
関連学会で発表された原著論文とします。
- ◇ 応募期間：2016年4月1日より6月30日(消印有効)
- ◇ 賞および副賞：賞状、記念品。副賞として100万円。
- ◇ 重点課題：『食品の安全、食品衛生、食品の機能、食品媒介の感染症・疾患、
生活環境衛生に先見的に着手したもの』
詳しくは、東京顕微鏡院HPをご覧ください。

公衆衛生の明日を切り拓く、優秀な研究成果をご推薦、ご応募ください。

遠山椿吉賞とは、日本の公衆衛生において、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点を持ち、地道に社会への貢献を追求する研究者(個人および研究グループ)を顕彰する賞です。賞は、「遠山椿吉記念食と環境の科学賞」と「遠山椿吉記念健康予防医療賞」の2部門あり、隔年で選考顕彰いたします。今年度は、「第5回食と環境の科学賞」を募集いたします。

*優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる50歳未満の応募者(年齢は応募時点)に対し、研究の更なる発展を奨励することを目的として、山田和江賞を設け、顕彰します。

*山田和江賞の受賞は、将来の遠山椿吉賞の応募・受賞を妨げるものではありません。

3つの世紀にわたるあゆみ

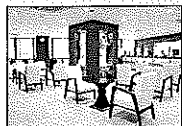
2016年4月、125周年を迎えた東京顕微鏡院、こことからだの元氣プラザは、すべての人びとのいのちと環境のため、公衆衛生の向上に貢献しています。



1891年、東京顕微鏡院の前身「東京顕微鏡検査所」を創設。顕微鏡技術講習、飲料水等の検査を順次開始。



1907年：保健部を新設し健康診査と衛生相談を開始



1967年：職域の健康診断業務を開始(写真は現在のこことからだの元氣プラザ(飯田橋施設))



1975年：食品衛生検査所を開設(写真は現在の豊海研究所)



2003年：こことからだの元氣プラザを飯田橋に設立(当財団保健医療部門を統合・拡充し、独立)



2008年：創業者遠山椿吉生誕150年、没後80年を記念して、遠山椿吉賞を創設

一般財団法人 東京顕微鏡院 / 医療法人社団 こことからだの元氣プラザ

拠点：市ヶ谷本院、豊海研究所、立川研究所

拠点：飯田橋施設、元氣プラザ細胞病理コアテクノロジー、市ヶ谷施設

東京都千代田区九段南4-8-32 〒102-8288 ●ホームページ <http://www.kenko-kenbi.or.jp> 一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室 03-5210-6651